

二 勤続手當

一、年ニ對シ日給ニ丁日分  
但シ一、年未滿ハ一、年ニ計算ス

ヲ支給セラルレシコトノ要示書ヲ提出シ且ツ其  
ノ目的ヲ達スルガ為メ疎留職工ニ對シ同情罷  
業ヲナスベキコトヲ勸誘シ爭議本部リ月島勞  
働會館ニ設ケタリ

依テ疎留職工等ハ同日正午工場内ニ於テ協議  
會ヲ開キタル結果一同ヨリ嘆願書ヲ提出シタ  
ルニ加藤工場主ヨリ懇諭シテ輕拳ヲ戒告シタ  
ルトモ之ヲ諒トシ友誼トシテ被解雇ニ對シ各  
自日給一日分ヲ醸出シ支給スルコトハナリタ  
リ

工場主側ハ同日午後三時解雇職工給料及手當

被解雇  
手當

ハ價格表記郵便ニテ各自宅ニ向テ發送セリ  
翌二日被解雇職工代表野崎振作野田鉄二等亦  
七藏外二名ハ機械労働組合聯合會場本久計ヲ  
同道技師長山田政雄ト會見場本ヨリ前日提出  
シタル右要示書ノ回答ヲ迫リタルニ第三者ハ  
介入スル要ナシトテ列席ヲ拒絶セラルレ野崎等  
ニ對シテ要示ハ到底容認セラルザル旨ヲ申渡  
シタリ

茲ニ於テ職工等ハ之ガ交渉方ニ関シ機械労働  
組合聯合會代表次雄ハ特別要視察人ニ依頼シ  
タル為メ依ハ三日各職工ノ委任狀ヲ携ヘ職工  
上野安太郎若林三四郎野近藏ハ三名ト共ニ  
工場主ニ會見ヲ求メタルニ拒絶セラルレ山田技